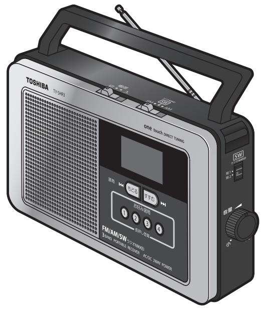
TOSHIBA
Leading Innovation >>>

東芝FM/AM/SWラジオNIKKEI

取扱説明書

形名
TY-SHR3


001

日本国内専用
Use only in Japan

- ●このたびは東芝FM/AM/SWラジオNIKKEIをお買い上げいただきまして、まことにありがとうございました。
- ●この商品を安全に正しく使用していただくために、お使いになる前にこの取扱説明書をよくお読みになり十分に理解してください。
- ●お読みになった後は、必要なときすぐに取り出せるように大切に保管してください。

保証書付

保証書はこの取扱説明書の裏面についていますので、お買い上げ日、販売店名などの記入をお確かめください。

主な特長

- ●家庭用電源、乾電池のどちらの電源でも使える２電源方式
- ●約300時間使用できる「長電池寿命」（AM受信内蔵スピーカー・アルカリ乾電池使用時）
- ●ラジオNIKKEIも聞ける３バンドラジオ
- ●PLLシンセサイザー採用で簡単選局
- ●φ9cmスピーカー搭載で大音量
- ●４個のお好み選局ボタン
- ●便利な肩ベルト付き

安全上のご注意 必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するための安全に関する重要な内容を記載しています。次の内容（表示・図記号）をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

表示の説明

⚠警告	「死亡または重傷を負う可能性がある内容」を示します。
⚠注意	「軽傷を負うことや、家屋・家財などの損害が発生する可能性がある内容」を示します。

図記号の説明

🚫 禁止	中の絵と近くの文で、してはいけないこと（禁止）を示します。
● 指示	中の絵と近くの文で、しなければならないこと（指示）を示します。

もし異常が起こったら

⚠警告

指示
- **異常・故障時には、すぐに使用を中止し、電源プラグを抜く**
  （異常・故障例）
  - 煙が出たり、異常なにおいや音がする
  - 音声が出ないことがある
  - 内部に水や異物が入った
  - 電源プラグが異常に熱い
  - 電源コードが傷んでいる
  - 本体に変形や破損した部分がある

火災・感電の原因となります。すぐに電源プラグを抜き、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。

電源コード・電源プラグについて

⚠警告

指示
- **電源プラグは交流 100V コンセントに根元まで確実に差し込む**
- **本機の電源スイッチを切っても、内部の電源は完全に切れていないので、万一の事故や故障に備えるために、電源プラグはよく見えて容易に手が届く位置にあるコンセントに接続する**
- **電源プラグの刃や刃の取り付け面にゴミやホコリがついている場合は、プラグを抜き、ゴミやホコリをとる**
- **電源コードを取り扱うときは、次のことを守る**
  - 傷つけない
  - 延長するなど加工しない
  - 加熱しない
  - 引っ張らない
  - 重いものを載せない
  - はさんだりしない
  - 無理に曲げない
  - ねじらない
  - 束ねたりしない
- **電源プラグをコンセントから引き抜くときは、電源プラグを持って引き抜く**

コードを持って引き抜くとコードが破損し、火災・感電の原因となります。

禁止
- **ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない**

火災・感電の原因となります。

⚠注意

指示
- **長時間使わないときやお手入れのときは、電源プラグをコンセントから抜く**

火災・感電の原因となります。

禁止
- **電源コードは付属のもの以外を使用しない**
- **付属の電源コードを他の機器に使用しない**

火災・感電の原因となります。

ご使用について

⚠警告

指示
- **持ち運ぶときは、アンテナをたたみ、電源プラグをコンセントから抜く**
- **落としたり、強い衝撃を与えて本体を破損したときは、すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜く**

火災・感電・けがの原因となります。

禁止
- **本機をふりまわさない**
- **分解・修理・改造はしない**
- **異物を入れない**
- **雷が鳴り出したら、アンテナ線・電源コードに触れない**
- **通気孔をふさがない**
  - 壁に押しつけない（背面3cm、左右側面5cm以上の間隔をあける）
  - 押し入れや本箱など風通しの悪い所に押し込まない
  - テーブルクロス・カーテンなどを掛けたりしない
  - じゅうたんや布団の上に置かない
  - あお向け・横倒し・逆さまにしない

火災・感電・事故の原因となります。

- **自転車やバイク、自動車などの運転中は、イヤホンで使用しない**

周囲の音が聞こえにくくなり、交通事故の原因となります。

⚠注意

禁止
- **水滴や水しぶきのかかるところに置かない**
- **花瓶など液体の入ったものを本機の上に置かない**
- **本機の上にのったり、上に重いものを置いたりしない**
- **イヤホンの音量を上げすぎない**
- **長時間、音が歪んだ状態で使わない**

けが・故障・火災などの原因となります。

設置について

⚠警告

禁止
- **次のような場所には置いたり、使用しない**
  - 雨天時の屋外や浴室など、水がかかったり、湿気の多い場所
  - 雨、きりなどが直接入り込むような場所
  - 火のそば、暖房機器のそばなどの高温の場所
  - 直射日光の当たる場所、炎天下の車内
  - ホコリの多い場所
  - 調理場など油煙や湯気のあたる場所
  - 振動の強い場所
  - 腐食性ガス（亜硫酸ガス、硫化水素、塩素ガス、アンモニアなど）の発生する場所・極端に高温、低温、温度変化の激しい場所
  - ぐらつく台の上や傾いた所など、不安定な場所

火災・感電の原因となります。

電池について

⚠警告

禁止
- **指定以外の乾電池を使用しない**
- **新しい電池と使用した電池または種類の違う電池を混ぜて使用しない**

電池の性能の違いにより、発熱・液もれ・破裂などにより、火災・やけど・けがの原因となることがあります。

⚠注意

指示
- **電池を取り扱うときは、次のことを守る**
  - 極性表示⊕と⊖の向きを正しく入れる
  - 充電・加熱・分解・ショートしたり、火の中に入れない
  - 表示されている「使用推奨期限」を過ぎた電池を使用しない
  - 使い切ったときや、長時間使用しないときは、本体から電池を取り出す
  - 水にぬらしたり、ぬれた手で触れない
  - 直射日光の当たる場所や火の近くなどの熱源の近くに置かない

発熱・液もれ・破裂などにより、やけど・けがの原因となることがあります。もし、液に触れたときは、水でよく洗い流し医師に相談してください。器具についた場合は、液に直接触れないで拭き取ってください。

免責事項について

- ●地震・雷・風水害および当社の責任以外の火災、第三者による行為、その他の事故・お客様の故意または過失、誤用、その他の異常な条件下での使用により生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- ●取扱説明書の記載内容を守らないことにより生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。

お手入れのしかた

やわらかい布でよごれを軽く拭き取ってください。よごれがひどいときは、水でうすめた中性洗剤に浸した布をよく絞って拭き取り、乾いた布で仕上げてください。

- ベンジンやシンナー等有機洗剤、石油類は絶対に使用しないでください。本体表面を変質させます。

故障かな？と思ったとき

症状	原因	処置方法
音がでない	●音量レベルが下がっている ●電池が消耗している	●音量レベルを調節する ●新しい電池と交換する
雑音が多く聞きづらい	●電源雑音の影響を受けている ●モーター、蛍光灯などの電気器具、テレビによる雑音の影響を受けている	●本製品を雑音源から離す ●テレビを消す ●本機の向きを調節する

お知らせ

- 長時間使用していると、本体の一部が多少熱くなることがありますが故障ではありません。

仕様

受信周波数	AM：531～1,710 kHz　FM：76～108 MHz SW：3.8～10.0 MHz
電源	AC100 V 50/60 Hz、DC4.5 V（単1形乾電池3本）
電池持続時間（*）	東芝アルカリ乾電池（単1形×3本）使用時 内蔵スピーカー使用時 AM受信：約300時間、FM受信：約280時間、 SW受信：約280時間 イヤホン（32Ω）使用時 AM受信：約400時間、FM受信：約380時間、 SW受信：約380時間
スピーカー	φ9.0 cm（8Ω）×1
出力端子	イヤホン出力：3.5φミニジャック
最大出力	700 mW
最大外形寸法	214（幅）×130（高さ）×60（奥行）mm （ハンドル・ボタン・肩ベルト・ツマミなどの突起物を含まず）
質量	約640 g（乾電池・肩ベルトを含まず）
付属品	保証書付取扱説明書、電源コード、肩ベルト、お好み選曲ラベル

仕様および外観は改良のため予告なく変更する場合があります。

（*）印は（社）電子情報技術産業協会の定める「JEITA規格」による測定値。

この製品は、日本国内用に設計されているため海外では使用できません。また、アフターサービスもできません。

This product is designed for use only in Japan and cannot be used in any other country. No servicing is available outside of Japan.

保証とアフターサービス 必ずお読みください

修理・お取り扱い・お手入れについてご不明な点は

お買い上げの販売店へご相談ください。
販売店にご相談ができない場合は、下記の窓口へ

東芝エルイートレーディングサポートセンター
フリーダイヤル **0120-28-0488**
受付時間：365日 9:00～20:00
携帯電話・IP電話など
050-3786-0488（通話料：有料）
FAX
03-3258-0470（通信料：有料）

- お客様からご提供いただいた個人情報は、修理やご相談への回答、カタログ発送などの情報提供に利用いたします。
- 利用目的の範囲内で、当該製品に関連する東芝グループ会社や協力会社にお客様の個人情報を提供する場合があります。

保証書（一体）

- ●保証書は、この取扱説明書に記載されています。
- ●保証期間はお買い上げの日から１年間です。

補修用性能部品の保有期間

- ●FM/AM/SWラジオNIKKEIの補修用性能部品の保有期間は、製造打ち切り後6年です。
- ●補修用性能部品とは、その商品の機能を維持するために必要な部品です。

修理を依頼されるときは 持込修理品

■保証期間中は

お買い上げの販売店にご連絡ください。保証書の規定に従って、販売店が修理させていただきます。なお、修理に際しましては、保証書をご提示ください。

■保証期間が過ぎているときは

保証期間経過後の修理については、お買い上げの販売店にご相談ください。修理すれば使用できる場合は、ご希望によって有料で修理させていただきます。

■修理料金のしくみ

修理料金は技術料・部品代などで構成されています。

技術料：故障した商品を正常に修復するための料金。

部品代：修理に使用した部品代。

愛情点検	長年ご使用の機器の点検をぜひ！			
	このような症状はありませんか。	●煙が出る ●変なにおいがする ●その他の異常や故障がある	ご使用中止	故障や事故防止のため、使用を中止し、必ずお買い上げの販売店に点検・修理をご相談ください。

保証書「無料修理規定」

本書は、取扱説明書、本体貼付ラベルなどの記載内容にそった正しいご使用のもとで、保証期間中に故障した場合に、本書記載内容にそって無料修理をさせていただくことをお約束するものです。

保証期間中に故障が発生したときは、本書と商品をご持参のうえ、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。

修理の際、当社の品質基準に適合した再利用部品を使用することがあります。

★印欄に記入がないときは無効です。本書をお受け取りの際は必ず記入をご確認ください。

また本書は再発行しませんので紛失しないように大切に保管してください。

1. 保証期間内でも次の場合には有料修理になります。
   - （イ）誤ったご使用や不当な修理・改造で生じた故障、損傷。
   - （ロ）お買い上げ後の落下や輸送などで生じた故障、損傷。
   - （ハ）火災、天災地変（地震、風水害、落雷など）、塩害、ガス害、異常電圧で生じた故障、損傷。
   - （ニ）本書のご提示がない場合。
   - （ホ）本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句が書き換えられた場合。
   - （ヘ）一般家庭用以外（たとえば業務用など）に使用された場合の故障、損傷。
2. 出張修理を行った場合には出張に要する実費を申し受けます。
3. 修理のために取りはずした部品は、特段のお申し出がない場合は当社で引き取らせていただきます。
4. 本書は日本国内においてのみ有効です。
   This warranty is valid only in Japan.
5. ご転居の場合は事前にお買い上げの販売店にご相談ください。
6. ご贈答品などで本保証書に記入してあるお買い上げの販売店に修理がご依頼できない場合には、東芝エルイートレーディングサポートセンターへご相談ください。

東芝エルイートレーディングサポートセンター
フリーダイヤル **0120-28-0488**
受付時間：365日 9:00～20:00
携帯電話・IP電話など
050-3786-0488（通話料：有料）
FAX
03-3258-0470（通信料：有料）

- お客様からご提供いただいた個人情報は、修理やご相談への回答、カタログ発送などの情報提供に利用いたします。
- 利用目的の範囲内で、当該製品に関連する東芝グループ会社や協力会社にお客様の個人情報を提供する場合があります。

東芝FM/AM/SWラジオNIKKEI

持込修理品

形名	TY-SHR3		
★お客様	お名前	ふりがな 様	
	ご住所	〒□□□-□□□□	
	電話	市外　市内　番号　呼	
保証期間	本体	1年	★お買い上げ日 □年□月□日から
★ご販売店	住所・店名 電話		

東芝エルイートレーディング株式会社
〒110-0015　東京都台東区東上野2-21-10（東芝上野ビル）

※この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがってこの保証書によって保証書を発行している者（保証責任者）、およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

※保証期間経過後の修理、補修用性能部品の保有期間について詳しくは取扱説明書をご覧ください。

- 保証書にご記入いただいたお客様の住所・氏名などの個人情報は、保証期間内のサービス活動およびその後の安全点検活動のために利用させていただく場合がございますので、ご了承ください。
- 修理のために、当社から修理委託している保守会社などに必要なお客様の個人情報を預託する場合がございますが、個人情報保護法および当社と同様の個人情報保護規程を遵守させますので、ご了承ください。

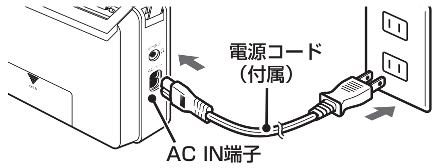
東芝エルイートレーディングサポートセンター
フリーダイヤル **0120-28-0488** 受付時間：365日 9:00～20:00

東芝エルイートレーディング株式会社
〒110-0015　東京都台東区東上野2-21-10（東芝上野ビル）

コンセント(家庭用電源AC 100V)で使う

付属の電源コードを、AC IN端子とコンセントにしっかりと差し込んでください。

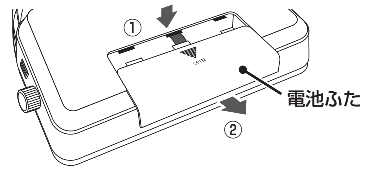
乾電池が入っていても自動的に家庭用電源に切り替わります。


電源コード
（付属）
AC IN端子

乾電池で使う

1 電池ふたをはずす

①の方向へふたを押しながら、②の方向へずらします。

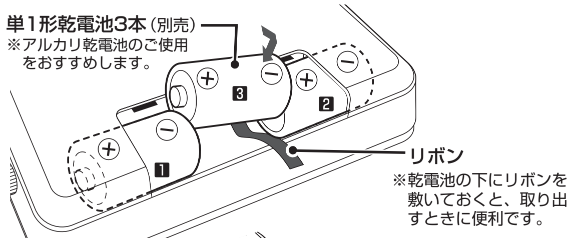


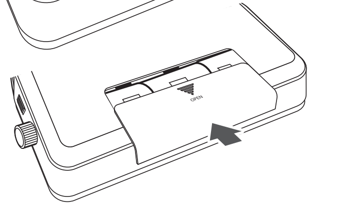
---

2 電池を入れて、電池ふたを閉める

単1形乾電池を3本(別売)使用します。

- 乾電池の⊕と⊖を確かめて、イラストの番号順に入れてください。
- 電池ふたを閉めるときは、リボンをはさまないように注意してください。


単1形乾電池3本（別売）
※アルカリ乾電池のご使用をおすすめします。
❶
❷
❸
リボン
※乾電池の下にリボンを敷いておくと、取り出すときに便利です。



⚠警告

新しい電池と使用した電池または種類の違う電池を混ぜて使用しない

発熱・液もれ・破裂などにより、火災・やけど・けがの原因となることがあります。

お知らせ

- 乾電池が入っていても、AC IN端子とコンセントがつながっているときは、家庭用電源が優先します。
- 気温が低いときは乾電池の性能が低下し、常温のときよりも電池寿命が短くなります。

●乾電池の交換時期は……

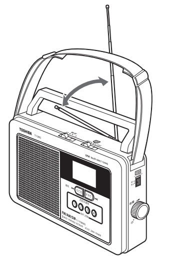
電池の交換時期になると、液晶表示部に ▭ マークが点滅表示されます。新しい乾電池に3本とも交換してください。

そのまま使い続けると、音が小さくなったり、でなくなったりします。

■ よりよい受信をするために

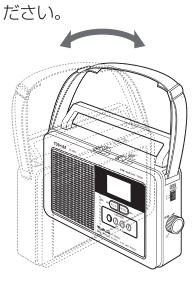
FM放送、ラジオNIKKEI放送

FM・短波アンテナを伸ばし、最もよく聞こえる方向にアンテナを調整してください。



AM放送

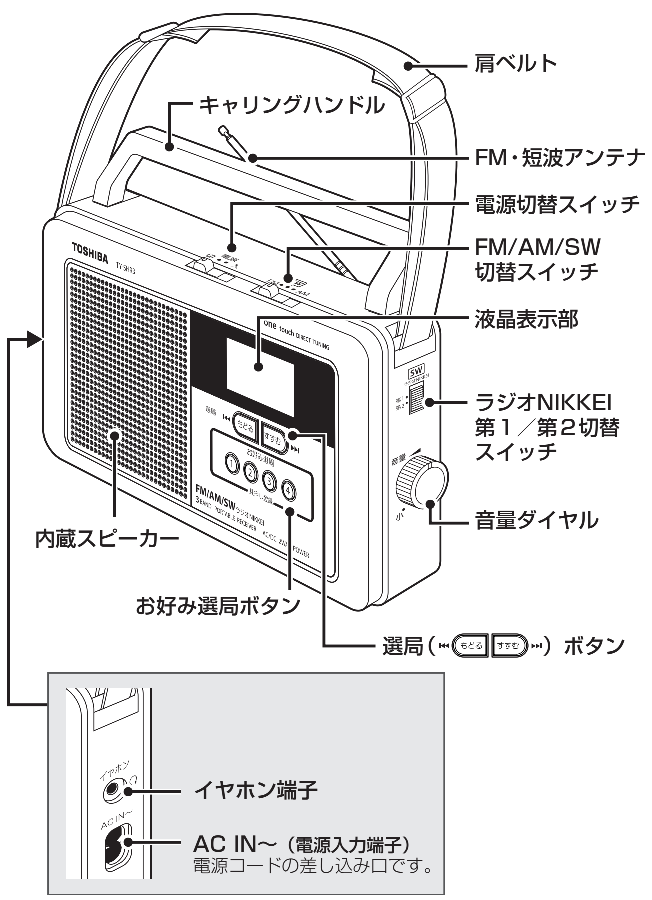
AMアンテナは内蔵されています。最もよく聞こえる方向に本体を向けて聴いてください。



お願い

- 乗り物やビルの中では電波が弱くなります。窓際で聴いてください。
- 携帯電話、PHS、他のラジオやテレビなどの電気製品の近くで使用するとノイズが入ることがあります。そのときは、本機を離してご使用ください。

各部のなまえ


肩ベルト
キャリングハンドル
FM・短波アンテナ
電源切替スイッチ
FM/AM/SW
切替スイッチ
液晶表示部
ラジオNIKKEI
第1／第2切替
スイッチ
音量ダイヤル
内蔵スピーカー
お好み選局ボタン
選局（⏮もどる すすむ⏭）ボタン
TOSHIBA
TY-SHR3
one touch DIRECT TUNING
FM/AM/SW ラジオNIKKEI
3 BAND PORTABLE RECEIVER
イヤホン端子
AC IN～（電源入力端子）
電源コードの差し込み口です。

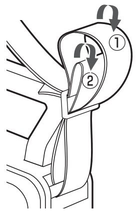
■ 肩ベルトの取り外しかた

肩ベルトは取り外すことができます。

①外側のベルトを矢印方向に引っ張り、緩めてください。

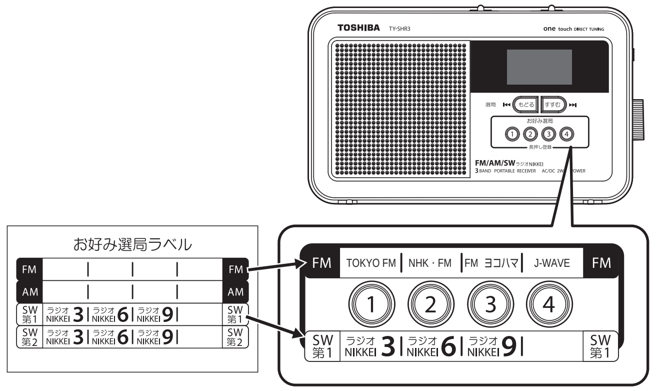
②内側のベルトを引っ張り出します。

※取り付ける際には外側のベルトを緩めてから、内側のベルトを通してください。



■ 付属品：お好み選局ラベルの使いかた

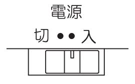
お好み選局ラベルに、お好み選局ボタンに登録した放送局を記入し、下記場所に貼り付けてお使いください。


お好み選局ラベル
FM
AM
SW 第1
SW 第2
ラジオNIKKEI 3
ラジオNIKKEI 6
ラジオNIKKEI 9
TOSHIBA
TY-SHR3
one touch DIRECT TUNING
FM
TOKYO FM
NHK・FM
FM ヨコハマ
J-WAVE
1
2
3
4
SW 第1

ラジオを聴く

1 電源

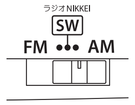
電源切替スイッチを「入」にして、電源を入れます。



---

2 バンド切替

FM/AM/SW切替スイッチで「FM」、「SW」または「AM」を選びます。


ラジオNIKKEI
SW
FM ••• AM

---

3 選局

●FM／AM放送を受信する

3-1 ⏮もどる または すすむ⏭ を長押し(約2秒)する

自動的にスキャンを開始し、受信状態のよい放送局を受信すると自動的にスキャンを停止します。(オートスキャン選局)

- ⏮もどる または すすむ⏭ を押して放送局を受信できます。（マニュアル選局）
  短く押すたびに周波数が変わります。オートスキャン選局をした後に、周波数を微調整するときに使うと便利です。

●ラジオNIKKEIを受信する

3-1 ラジオNIKKEI 第1／第2 切替スイッチを「第1」または「第2」に切替える

3-2 お好み選局ボタン(①、② または ③)を押す

受信状態のよいお好み選局ボタンを選んでください。

お知らせ

- お好み選局ボタンには、あらかじめ下記の周波数帯が登録されています。

	お好み選局ボタン		
	①	②	③
第1放送	3.925 MH z	6.055 MH z	9.595 MH z
第2放送	3.945 MH z	6.115 MH z	9.760 MH z

- 短波放送は電波の性質上、季節や天候、地域、時間などによって、受信状態が大きく異なります。ラジオNIKKEIでは、安定した放送を受信できるように、同時に3種類の周波数帯(3MHz帯、6MHz帯、9MHz帯)で同じ放送を送信しています。

---

4 音量

音量ダイヤルを回してお好みの音量に調節します。

■ 電源を切るには

電源切替スイッチを「切」にして、電源を切ります。

■ イヤホン(別売)で聴くには

イヤホン端子にイヤホンのプラグを差し込みます。

- イヤホンのプラグは3.5 φミニジャックのタイプをご使用ください。
- イヤホンを使うとスピーカーから音声が出なくなります。
- 本機のFMはモノラル仕様です。ステレオイヤホンを使用しても、FMはステレオになりません。

■ 液晶表示部のバックライトについて

電源を入れてからボタン操作をせずに約30秒が過ぎると、液晶表示部のバックライトが自動的に消えます。

お好み選局ボタンに放送局を登録する

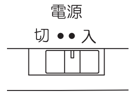
お好きな放送局をFMとAMそれぞれ4局まで、お好み選局ボタンに登録できます。

また、バンドを「SW」に切替えたときのお好み選局ボタンの④に、お好きな短波放送局を登録することもできます。

FM／AMバンド時のお好み選局ボタン(①～④)に、お好きなFM／AM放送局を登録する

1 電源

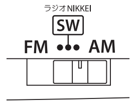
電源切替スイッチを「入」にして、電源を入れます。



---

2 バンド切替

FM/AM/SW切替スイッチで「FM」または「AM」を選びます。


ラジオNIKKEI
SW
FM ••• AM

---

3 選局

⏮もどる または すすむ⏭ を長押し(約2秒)し、登録したい放送局を受信します。

- 受信状態がよくない場合は、⏮もどる または すすむ⏭ を短く押して、受信状態がよい周波数を選んでください。

---

4 登録

登録先のお好み選局ボタン(①～④)を長押し(約2秒)します。

受信中の放送局がお好み選局ボタンに登録されます。

お知らせ

- すでにお好み選局ボタン(①～④)に放送局が登録されている場合は、新たに登録した放送局が上書き登録されます。

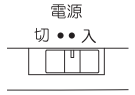
■ 登録した放送局を選局するには

「ラジオを聴く」の手順1～2を行った後、聴きたい放送局のお好み選局ボタン(①～④)を押します。

SWバンド時のお好み選局ボタン④に、お好きな短波放送局を登録する

1 電源

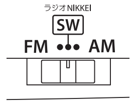
電源切替スイッチを「入」にして、電源を入れます。



---

2 バンド切替

FM/AM/SW切替スイッチで「SW」を選びます。


ラジオNIKKEI
SW
FM ••• AM

---

3 選局

⏮もどる または すすむ⏭ を長押し(約2秒)し、登録したい放送局を受信します。

- 受信状態がよくない場合は、⏮もどる または すすむ⏭ を短く押して、受信状態がよい周波数を選んでください。短く押すたびにワンステップずつ周波数がアップ／ダウンします。

---

4 登録

お好み選局ボタン④を長押し(約2秒)します。

受信中の放送局が、お好み選局ボタン④に登録されます。

お知らせ

- すでにお好み選局ボタン④に放送局が登録されている場合は、新たに登録した放送局が上書き登録されます。

■ 登録した放送局を選局するには

「ラジオを聴く」の手順1～2を行った後、お好み選局ボタン④を押します。

- お好み選局ボタン④を選局する場合、ラジオNIKKEI 第1／第2 切替スイッチを切り替える必要はありません。